

博士後期課程Ⅱ期

令和3年度 武蔵野大学大学院

環境学研究科 環境システム専攻 博士後期課程 入学試験問題 (1月10日)

[専門に関する筆記試験]

- ・ 問題1、問題4は必答であり、全ての問に解答すること
- ・ 問題2、問題3は選択であり、どちらかを選び解答すること
- ・ 答案用紙には問題番号、問番号を記入すること

[専門に関する必修問題]

問題1 次の文章は循環型社会形成推進基本法に関するものである。この文章に関して、下の問に答えよ。

循環型社会形成推進基本法は循環型社会を構築するにあたって規定された法律で、**1**法(1993年)の理念にのっとり、国民、事業者、市町村、政府の役割が規定された法律である。特に、事業者・国民の「**2**」明確化や生産者が自ら生産する製品等について使用され廃棄物となった後まで一定の責任を負う「拡大生産者責任」の一般原則を確立している。また、循環的な利用が行われる物品と処分が行われる物品を「廃棄物等」とし、廃棄物等のうち有用なものを「**3**」と位置づけ、その循環的な利用を促している。この法律では処理の優先順位が初めて法定化され、**1**発生抑制、**2**再利用、**3**再生利用、**4**熱回収、**5**適正処分という優先順位となっている。

問1 上記の文章中の**1**～**3**に当てはまる言葉を記せ。

問2 下線の処理における5つの優先順位の中から1つを選び、その内容について5行以内で説明せよ。

[専門に関する選択問題]

問題2 次の問に答えよ。

問1 次の項目(1)～(4)の中から好きなものを2つ選び、それぞれ3行程度で説明せよ。

- (1) リチウムイオン電池 (2) 水循環基本法 (3) マイクロプラスチック (4) 水俣病

問2 環境基準法に定める水質環境基準のうち人の健康の保護に関する環境基準(健康項目)に適用されていない物質は次のa～fのうち何個あるか。最も適当な選択肢の番号を答えよ。

- 一般細菌
- 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素
- ネオニコチノイド
- マイクロプラスチック
- カドミウム
- 総水銀

選択肢： ① 1個 ② 2個 ③ 3個 ④ 4個 ⑤ 5個 ⑥ 6個 ⑦ 0個

問題 3 次の問に答えよ。

問 1 次の項目(1)～(4)の中から好きなものを 2 つ選び、それぞれ 3 行程度で説明せよ。

- (1) エコアクション 21 (2) 生態系サービス (3) 紛争鉱物 (4) 環境ラベル

問 2 気候変動に関する国際枠組みである京都議定書、及びパリ協定の概略について両者の違いを明らかにしながら 3 行程度で説明せよ。

[専門に関する小論文]

問題 4

わが国の台風、大雨、集中豪雨などによる水害の現状と今後の課題について記述せよ。